５伊勢物語

　昔、①、②しに、③思ふどちかい連ねて、④＊の国へａ二月ばかりに行きけり。の国、＊の山を見れば、曇りみ晴れみ、⑤立ちゐる雲やまず。ｂ朝より曇りて、昼晴れたり。雪Ａいと白う木の⑥に降りたり。それを見て、かのく人のなかに、ただひとりよみける。

こずえ

親しい者同士

曇ったり晴れたり

散策するために

　　⑦きのふ ⑧けふ雲の⑨立ち舞ひ⑩隠ろふはＢ花の林をしとなりけり

（第六七段）

＊語注

＊和泉…今の大阪府の南西部。

＊生駒の山…大阪市の東の山。大阪府と奈良県との境に位置する。

問１　＝　線部ａ「二月」は四字、ｂ「朝」は三字のひらがなで読みを答えよ。

ａ＝〔　 　　　　　　〕　ｂ＝〔　　　 　　〕

問２　――線部①〜⑩の読み方をそれぞれ現代かなづかいに直して、すべてひらがなで答えよ。

①〔　　　　　　　〕　②〔　　　　　　　〕

③〔　　　　　　　〕　④〔　　　　　　　〕

⑤〔　　　　　　　〕　⑥〔　　　　　　　〕

⑦〔　　　　　　　〕　⑧〔　　　　　　　〕

⑨〔　　　　　　　〕　⑩〔　　　　　　　〕

問３　――線部Ａを現代語訳せよ。

〔　　　　　　　〕

問４　――線部Ｂ「花」と表現されたものは、実際は何か。文中から抜き出して答えよ。

〔　　　　　　　〕

【解答】

問１　ａ＝きさらぎ　ｂ＝あした

問２　①おとこ　　②しょうよう　③おもうどち　④いずみ

　　　⑤たちいる　⑥すえ　　　　⑦きのう

　　　⑧きょう　　⑨たちまい　　⑩かくろう

問３　たいへん（とても／たいそう）

問４　雪

現代語訳　　昔、男が、散策するために、親しい者同士一緒に、和泉の国へ二月ごろに行った。河内の国、生駒の山を見ると、曇ったり晴れたりして、浮かんでいる雲がたえない。朝から曇って、昼晴れた。雪がとても白く木のこずえに降りつもっている。その景色を見て、その一行のうち、ただ一人が（歌を）詠んだ。

　　きのふけふ…＝昨日今日、雲が立ち舞って（山が）隠れているのは、雪が花のように積もっている林を、（人に見られるのが）いやだと思ってのことだったよ。

ポイント

問４　「雪」が「いと白う木の末に降」ったのを見て、歌を詠んだ。